

# 「利根川舟運・地域づくり協議会の活動」の紹介

利根川舟運・地域づくり協議会 事務局  
取手市 建設部 水とみどりの課 舟運交流推進室長 栗田 一正  
(財) リバーフロント整備センター 河川・海岸グループ 研究員 天野 正秋

## 1. はじめに

利根川下流域は、徳川家康による利根川の東遷事業によって沿川に数多くの河岸が発達し、江戸の繁栄を支えるとともに舟運により沿川地域の経済も発展した(図-1)。また、江戸期には、東国三社詣(香取神宮、鹿島神宮、息栖神社)等で多くの観光客が訪れ、明治以降も通運丸等が就航し、近代河川舟運の幹線航路として戦前までにぎわった地域である(写真-1)。戦後、鉄道・道路等の陸上交通の発達により舟運は衰退し、交通、物流網としての機能は失っていったが、利根川は「坂東太郎」として日本一の河川であり、河口の銚子から取手市付近まで約85km区間で船の就航が可能であり、霞ヶ浦、印旛沼、手賀沼等とも繋がっており、広大な河川空間を有している。

利根川下流域の沿川には歴史的な観光資源や貴重な自然景観、農林漁業の「食」等に関する地域資源が数多く存在している。さらに、首都圏にも近く、成田国際空港とも隣接していること、少子高齢化社会におけるスローライフを求める船旅客や外国人観光客の「利根川下り」等へのニーズも高まっており、利根川下流域自治体が連携して地域活性化、観光振興、農林漁業振興を図ることが重要である。

平成19年度に、沿川の関連自治体による舟運勉強会が開催され、地域連携・地域振興等の検討作業を開始したところであるが、今回、内閣府「平成20年地方の元気再生事業」の支援を受けて「利根川舟運による地域活性化プロジェクト」を実施しており、その取り組みについて紹介する。

なお、利根川舟運・地域づくり協議会は利根川下流域の19市町村(取手市(会長)、香取市(副会長)、銚子市(副会長)、稲敷市、神栖市、潮来市、河内町、利根町、行方市、美浦村、我孫子市、印西市、



図-1 利根川水運の主な河岸(川名登著「河岸に生きる人びと」をもとに作成)

栄町、神崎町、成田市、東庄町、印旛村、本埜村、酒々井町)で構成されている。



写真-1 取手市の常磐線鉄橋付近を航行する高瀬舟  
明治時代末から大正時代初期の頃(取手市教育委員会蔵)

## 2. 事業実施内容

「利根川舟運による地域活性化プロジェクト」  
平成20年度は以下の3つの取り組みを実施した。

- ① 舟運連携リレーイベント
- ② 河川空間を活用したイベント
- ③ 農林漁業産品等の宣伝

### (1) 舟運連携リレーイベント

取手～銚子間の舟運の可能性を実証するため、既存の船着場を活用して舟運連携リレーイベントを実施した(表-1、図-2、写真-2～5)。沿川観光資源の紹介としてクルージングマップを作成、さらにイベント開催の広報のための協議会独自のHPや舟運イベント配付資料の作成を行うとともに、イベント開催時にはアンケート調査を実施し、調査結果を整理して評価・分析を行った。



図-2 舟運リレーイベントルート



写真-2 大型客船(10/11)

表-1 舟運連携リレーイベント内容

開催日	ルート	乗船人数(人)	船	関係自治体
10月11日	AM 利根川 (取手～香取間)	91名	大型客船1隻、 巡視船3隻	取手市、我孫子市、利根町
	PM 利根川 (出津～香取間)	54名	大型客船1隻、 巡視船1隻	印西市、酒々井町、印旛村、 河内町、栄町
10月12日	AM・PM 香取～霞ヶ浦～ 潮来間	90名	大型客船1隻、 巡視船3隻	香取市、潮来市、行方市、稲 敷市、美浦村
11月22日	下り (AM) 香取～銚子間	19名	巡視船1隻	成田市、香取市、神崎町、東 庄町
	上り (PM) 香取～銚子間	19名	巡視船1隻	香取市、銚子市、神栖市
合計		273名		

使用した船は、民営舟運事業者ラクスマリーナ所有の大型客船「ホワイトアイリス号」(定員88人)、さらに利根川下流河川事務所より巡視船「はるかぜ」、「かとり」、霞ヶ浦河川事務所より巡視船「白帆」を使用した。



写真-3 大型客船2階からの眺め(10/11)



写真-4 重要文化財 横利根閘門通過(10/12)



写真-5 銚子船着場下船(11/22)

当日、事務局で作成したパンフレットを参加者に配布した(図-3)。パンフレットには、以下の情報を記載した。

- ①モニタリングツアーの趣旨、②「利根川舟運・地域づくり協議会」の説明、③かつての利根川舟運、利根川の見どころマップとその解説、④各市町村のイベント情報、⑤各市町村の名所・旧跡情報、⑥各市町村の名物・名品情報、⑦河岸の説明とクイズ、⑧生き物(魚、鳥)紹介、⑨植物紹介、⑩既存舟運の紹介、⑪利根川の伝説、⑫利根川周辺の市町村境界

舟運連携リレーイベントとして実施した結果、3日間で合計273名が乗船し、アンケート調査では204名からの回答を収集した。長距離の乗船体験の感想は「たいへんよかった」62%、「まあまあよかった」36%、乗船した人の声は「長い間舟運が日本の繁栄を支えていた歴史を忘れてはならないと思います、今後の観光の目玉として期待します、是非もう一度乗りたい」等と評価は良好であった。



図-3 パンフレット(利根川下流見どころマップの一部)

## (2) 河川空間を活用したイベント

利根川の河川空間を活用したイベントを展開するため、既存のイベント（サイクリング、ハイキング等）・祭りの開催に合わせ12イベントを実施した（表-2、図-4、写真-6～9）。アンケート調査では393名からの回答を収集した。イベント参加の感想は「たいへん満足した」54%、「まあまあ満足した」42%、乗船した人の声は「この催しを年2、3回やってくれると良いと思います」等と評価は予想よりかなり高かった。



図-4 河川空間イベント実施箇所



写真-7 手賀沼(1/12)



写真-8 取手新春伝統行事どんと焼き (1/17)



写真-6 印旛沼 (12/13)



写真-9 印西市ぶらり川めぐりの旅 (2/21)

表-2 河川空間を活用したイベント内容

開催日	名称等	関連自治体
10月5日	とりで利根川河川祭り	取手市
10月13日	こうざきコスモス祭り	神崎町
10月19日	印西よかつべ夢祭り	印西市
	市民サイクリング大会・富田渡船	香取市
11月16日	駅からハイキング	印西市
12月13日	印旛沼と冬鳥、船によるモニタリングツアー（安食の酉の市）	6市町村（栄町、印西市、成田市、酒々井町、印旛村、取手市）
1月4日	新春大利根ウォーキング	香取市、銚子市、東庄町
1月12日	手賀沼と冬鳥、船とウォーキングによるモニタリングツアー	4市町（我孫子市、取手市、利根町、河内町）
1月17日	「取手新春伝統行事&ビール工場見学」モニタリングツアー	取手市、香取市、東庄町
2月21日	ぶらり川めぐりの旅と我孫子ふるさと散策視察会	印西市
3月7日	ぶらり川めぐりの旅と印西ふるさと散策視察会	印西市、取手市
3月15日	酒蔵まつり 2009 in 神崎	4市町（神崎町、成田市、香取市、栄町）

### (3) 農林漁業産品等の宣伝

地域の農林漁業産品等の宣伝として、舟運リレーイベント・河川空間を活用したイベント時に合わせて試食会、インタビュー調査、アンケート調査を実施した(写真-10、11)。

- ・参加者の一部を対象にインタビュー調査を実施し、まだ市場に出ていない隠れた産品(無添加カステラ)があることを確認した。
- ・アンケートでは339名からの回答を収集し、「魚介類、米、野菜、果物、酒、漬け物、お菓子のうち、産品として良いと思う品物」の中では、野菜、魚介類、漬け物が上位を占めた。次年度における産品の宣伝や販売の促進のヒントが得られた。



写真-10 香取～銚子間(11/22)



写真-11 手賀沼ウォーキング(1/12)

### (4) 事業の内容と今後の課題

舟運においては取手～銚子間の舟運可能性について実証・確認し、河川空間の活用においては、自治体域を超えた連携イベント、また、農林漁業産品においては、自治体域を超えた宣伝を実現した(表-3)。課題としては、舟運において独自の体制で展開ができるように将来的な方策を検討する必要がある、募集時期や募集範囲、料金や経費等について検討した上で実施する必要がある。河川空間の活用において新たなイベントの実施に向けた検討、魅力創出のための工夫、内容の充実を図るため、引き続き参加者のニーズや評価を収集し、評価・分析を行うとともに、舟運事業者の参画の仕組みなどについて検討する必要がある。農林漁業産品においては地元オリジナル名産品の開発に反映させることが考えられる。

### 3. おわりに

香取市では、民間活力を活用したPFI事業、および河川占用の特例措置を利用した、川とまちをつなぐ広域交流拠点「水の郷さわら」の整備が進められ、平成22年春に開設予定である。さらに、「かわまちづくり」支援制度に申請したことにより、利根川下流部の市町村に船着場等の整備が進められることから、既存イベント・祭りと合わせて広域連携イベントの開催等により、市町村交流と地域活性化を図っていく。また、今年度より開設した協議会HPより、イベント案内、募集、名産品の紹介等広範囲に情報を提供し、より多くの人々に利根川下流域での舟運体験やイベントを楽しんでいただくよう取り組んでいきたい。

<利根川舟運・地域づくり協議会HP>

<http://www.tonegawa-ship.jp>

表-3 事業の内容と今後の課題

取り組み	内容	今後の課題
舟運連携リレーイベントの実施	利根川における取手～銚子間、香取～霞ヶ浦～潮来間の舟運可能性を実証した。	<p>今後は独自の体制で展開できるように将来的な方策を検討する必要がある</p> <p>秋季以降の河川水位が比較的低い時期においても大型船が安全に安定した運行を確保するための航路・水深の確保を図るための検討</p>
	秋季以降の舟運イベントの募集を行い、主に周辺市町村から270人近くの参加者の乗船を実現した。	<p>募集時期の検討(行楽シーズンでの開催)</p> <p>募集範囲の検討(HPの活用や県・観光協会等との協力により広範囲の募集)</p>
河川空間を活用したイベントの実施	既存のイベント・祭りの開催に合わせて計12のイベントを実施した。さらに、舟運等を含めた連携イベントを5つ行い、自治体域を超えたイベントを実現した。	<p>新たなイベントの実施に向け、アンケート結果等を踏まえた検討</p> <p>内容の充実を図るため引き続き参加者の評価を収集</p>
農林漁業産品等の宣伝	イベント時に産品の宣伝、試食会を実施し、自治体域を超えた宣伝を実現した。	収集した産品情報とアンケート結果等をもとに、商工会や地元料理人を招集し、地元オリジナル名産品の開発に反映させる